

データ作成の非効率性、データの可視化を MotionBoard Cloudで一挙に解決

株式会社 And Do ホールディングス



Salesforceのデータなどを多様な切り口で可視化・分析

ハウズドブランドで全国に不動産事業を展開している株式会社And Doホールディングス（以下、And Doホールディングス）では、従来からITとデータの活用に着目し積極的に取り組んでいる。2015年にはBIダッシュボードの「MotionBoard Cloud」を導入し、データ活用の効率化に役立ててきた。現在は、「MotionBoard Cloud for Salesforce」を活用し、データ活用のさらなる効率化とスピードアップを推し進めている。

インタビュー：経営戦略本部 経営企画部 部長 花谷 清明氏、経営戦略本部 経営企画部 主任 土井 美沙氏、
経営戦略本部 経営企画部 松尾 明日架氏、経営戦略本部 経営企画部 岡田 拓朗氏

Summary

概要



背景・課題

- Excelではデータの入力・集計に工数がかかるうえに、多様な切り口からデータを可視化するためにも多くの手間を要していた
- 予実管理を表現力、使い勝手に優れたツールで行いたいというニーズがあった



解決策

- 帳票作成の効率化を目的に2015年にMotionBoard Cloudを導入、データの分析、表現力豊かな可視化が簡単にできる仕組みを整えた
- MotionBoard Cloud for Salesforceに切り替え、予実管理にも使える環境を整備



効果

- イベント報告書、イベント集計表など分析用資料の作成過程を効率化
- 多彩なグラフを組み合わせることで1つのダッシュボード上で表示させることが容易になり、アンケート集計等の可視性・表現力が大きく向上
- Salesforceに入力されたデータやその他の外部データをMotionBoard Cloud for Salesforceで多様な切り口から可視化・分析でき、予実管理を効率化

導入製品・サービス



MOTIONBOARD

CASE STUDY

MotionBoard Cloud

ビジネスのあらゆるデータを可視化するクラウド型BIダッシュボードサービス。データを必要なカタチで、シンプルに可視化。

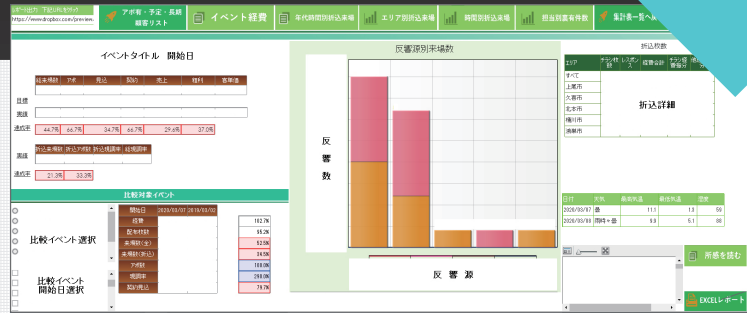
MotionBoard Cloud for Salesforce

Salesforceとシームレスに連携し、Salesforce内のデータと社内のデータを組み合わせて可視化できるBIダッシュボード。

イベント結果報告、アンケート集計、 予実管理を効率化

And Doホールディングスでは従来、Excelを使って各種帳票やレポートを作成していたが多大な手間がかかっていた。これを解決するために2015年に導入したのが、MotionBoard Cloudだ。単にExcelからMotionBoard Cloudへの移行にとどまらず、MotionBoard Cloudで作成した帳票を「さらに良くしたい」という要望が増え、活用が確実に広がっていった。こうしたなか同社では、2018年8月にSalesforceを導入。これを機に、2020年にMotionBoard CloudからMotionBoard Cloud for Salesforceへの切り替えが行われた。

同社における代表的なMotionBoard Cloudのユースケースが、イベントの結果を報告書にまとめる業務だ。例えば、ある事業部では月に2~3回×2店舗のペースでイベントを催している。イベント報告で集計対象になるデータは15



イベント結果報告画面 ※サンプルデータを使用

項目以上もあり、レポートに含まれる情報は「来場者の属性情報」「開催した日の天候」「開催告知のチラシを配布した地域や枚数」「来場した人の来場時間」など多岐にわたる。

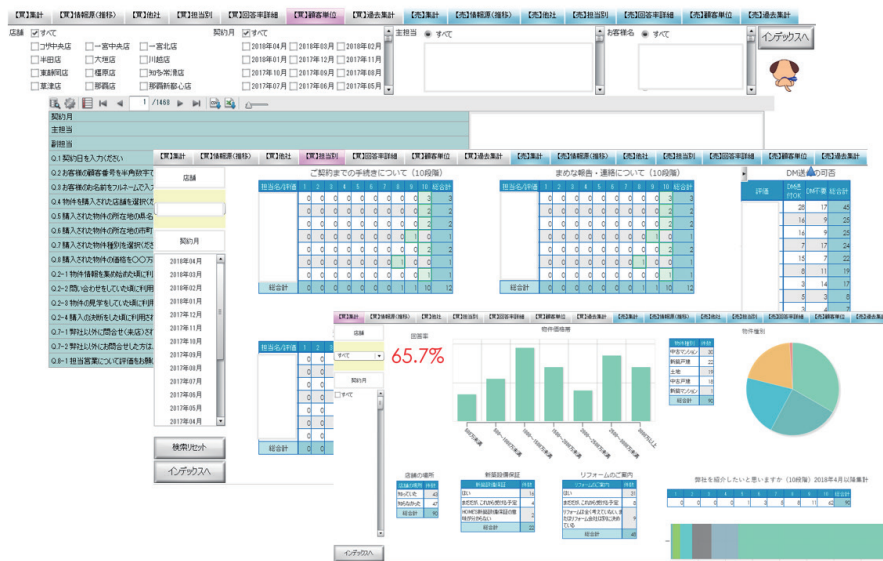
従来は、月次集計表を作成するのに半日を要していたが、MotionBoard Cloudによって、1時間程度で作業が終えられるようになった。また、従来は月末にまとめて集計表を作成していたが、イベント報告はイベント終了と同時に集計できるようになり、速やかに次のアクションにつなげられるようになった。

このほか、契約時に実施する顧客アンケートの集計の見やすさ、表現力を改善するためにも役立っている。MotionBoard Cloudを

使ったアンケートレポートは、一つのダッシュボードにさまざまなグラフを組み合わせた可視性の高いものとなり、データ活用の幅が広がった。

さらに、MotionBoard Cloud for Salesforceへの切り替えにより、Salesforceに入力した案件情報などから予実管理レポートを作成するなどして、ビジネスの状況を即座にとらえられるようになった。

同社では今後、MotionBoard Cloud for Salesforceを使ったダッシュボード開発の知識を深めることで、データ活用のレベルをさらに高めていこうと考えている。他社の活用事例を参考にすることで、開発・活用のスキルを磨いていく考えだ。



契約時アンケートレポート ※サンプルデータを使用

HOUSEDO

株式会社 And Do ホールディングス

設立 : 2009年(創業1991年)
本社所在地 : 東京都千代田区(東京本社)
URL : <https://www.housedo.co.jp/and-do/>

事業内容:フランチャイズ事業、ハウス・リースバック事業、金融事業、不動産売買事業、不動産流通事業、リフォーム事業など不動産事業を多角的に展開。ホールディングス制の導入に伴い、2022年1月に社名をハウストゥから現社名のAnd Doホールディングスへと変更。国内1,000店舗のフランチャイズチェーンネットワークによる不動産情報のオープン化の推進と安心・便利なサービスを提供する「不動産コンビニ」構想の実現に邁進している。

サイト内でより詳しくご紹介しております。



<https://www.wingarc.com/product/usecase/541.html>